

地域の水道を支える歴史的景観

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第036号
名称(型式等)	栗山配水塔
所在地	松戸市栗山198
設立(竣工)年	昭和12(1937)年3月
選定理由	

千葉県営水道創設事業の中で、千葉県水道事務所江戸川水源工場（旧古ヶ崎浄水場）の付帯施設として、千葉高架水槽（登録番号第014号）と同じ昭和12(1937)年に建設された円筒型の配水塔です。

鉄筋コンクリート造りで内径15m、高さ31m。下部に行くに従い緩やかに壁を厚くした耐圧構造となっています。貯水容量は3,534 m³です。

ドーム状の屋根の塔頂部にはパーゴラ風の4本柱の換気口があります。栗山浄水場の配水塔として松戸市一帯の配水を担うなど、今も現役で使用されている水道施設であり、地域の歴史的景観をなしていることから平成18(2006)年度に土木学会選奨土木遺産に認定され、平成29(2017)年には「千葉県水道局千葉分場1号配水池」（千葉市中央区矢作町）とともに国の登録有形文化財（建造物）に登録されています。



写真1：正面



写真2：側面

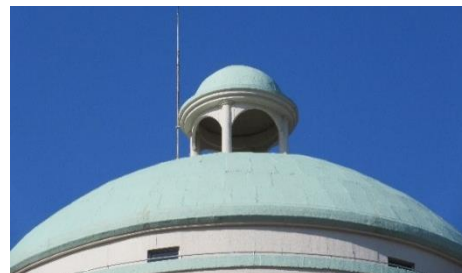


写真3：換気口部分